

特集 国際化の波に洗われる日本の水道

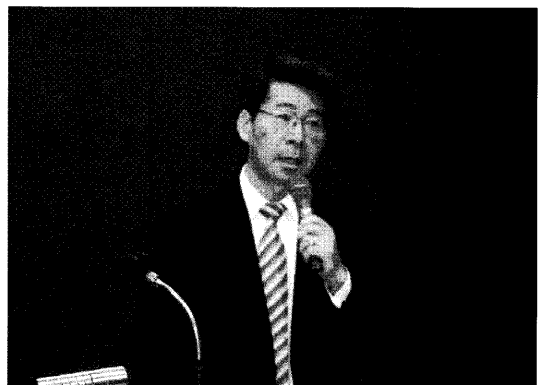
世界水ビジネスの現状と今後の見通し

グローバルウォータ・ジャパン 吉村和就氏

日本紫外線水処理技術協会での講演より

日本の水道の国際化を語る時、これまで経験していなかったことは、世界的な水ビジネスの動きの中に、否応なく巻き込まれているという事実である。世界最高と言われる技術を有し、途上国への最大の支援国でありながら、大きく後れを取っている。その世界ビジネスの現状を吉村氏の講演により紹介する。同氏は(株)荏原製作所勤務の後、国連本部で環境審議官として発展途上国の水インフラの指導を行った。同時テロの後、帰国しグローバルウォータ・ジャパンを設立した。ISO/TC224の日本代表をはじめ、国際舞台で活躍している。国連テクニカルアドバイザー、経団連地球環境部会温暖化対策委員ほか、多方面で活躍している。

私は国連をはじめ、水に関する色々な会議に出席しておりますが、残念に思うのは日本の水処理会社は技術とそれをメンテナンスしていく能力は抜群だが、ビジネスのマインドに欠けていることです。ISO/TC224の会議に2002年から毎年、総会と分科会に出席していますが、日本人から発言は出ても、ビジネスについては発言できません。例えば、RO膜について日本は世界市場の65%のシェアを占めており、アイデピテイションになっているかというところがそうでなくて、逆に欧米企業から叩かれて買われているというのが現状です。日本の企業が世界のマーケットで頑張りたいと思っています。



国際舞台で活躍する吉村和就氏

気候変動で水のバランスが崩れる

まず、水をめぐる最近の国際的な動きについて紹介します。ICCP(国連政府間気候変動パネル)が2007年2月に開かれ、気候変動により干ばつと洪水が激しさを増すと報告しています。気温が6.4度上がると、水は地域的にアンバランスになるといわれております。同じく2007年2月EEA(欧州環境庁)は気候変動により飲料水の確保が困難になり、EU27カ国のうち、特に旧共産圏が干ばつと洪水を繰り返し、ドナウ川、ボルガ川の流域で洪水が起り、中央で干ばつが起きると報告しています。国連は3月22日を「世界水の日」としています。2000年のミレニアム・サミットの時、貧困は水資源と密接な関係にあるとし、これを解決するためにミレニアム・ゴールを発表しました。さらに今年4月、シンガポールで脱塩・再生水サミットが開催され、海水淡水化と水のリサイクルが地球を救うとの決議がされました。

独・仏3社により寡占化

ここからビジネスの話になりますが、ビジネスとなると、民営化は避けられない話です。世界の民営化水道市場は、給水人口約4億人、130カ国に及んでいます。それをヴェオリア(仏)、スエズ(仏)、RWE(独)の上位3社で独占しています。水事業の民営化が進んでいるのはヨーロッパで、続いて北米、そして1990年代から世界銀行の資金を得て進んだラテンアメリカです。これから伸びるのがアジア・パシフィックで、ポテンシャル・マーケットとして大きいとみられています。それ



講演する吉村和就氏

から、旧共産圏の東欧、アフリカが市場とみられています。アフリカは資金が確保されればですが、ここで、上位3社の動向を紹介します。

【ヴェオリア】フランス

設立は1853年で、フランスの小さなコミュニティのメンテナンスから伸びてきた会社です。核になっているのはジェネラルデゾー、ビベンディ、ビベンディ・エンバイロメントです。総売上は3兆1500億円(2004年)、総従業員25万2000人、水事業、廃棄物処理、エネルギー、輸送を行っています。この会社の強みは機器売りではなく、水事業によって利益を上げていこうという方針で、水事業は1兆920億円、従業員6万8000人です。官民のシェアは民間28%、官庁72%でこれが大きな意味を持っています。即ち、新しい仕組みや技術

管工機材住宅設備機器の専門商社



浅野機材株式会社

本社 〒110-8627 東京都台東区東上野4-10-3 ☎(03)3843-5171

東京事業所 ☎(03)3875-5741	栗橋事業所 ☎(0280)84-1235
厚木事業所 ☎(046)248-0345	川越事業所 ☎(049)232-1354
柏事業所 ☎(04)7132-0121	八王子事業所 ☎(042)636-4311
春日部事業所 ☎(048)735-4131	川崎事業所 ☎(044)854-7211
熊谷事業所 ☎(048)521-1248	西那須野事業所 ☎(0287)36-6566
伊勢崎事業所 ☎(0270)24-7564	本社営業部 ☎(03)3847-8041
千葉事業所 ☎(043)263-3697	五霞センター ☎(0280)84-2626

をまず民で試して、確立されたものを官にもっていくというやり方です。日本の企業は民需、又は官需だけというケースが多いのに対して、3対7の良いバランスで動いています。

【スエズ】フランス

スエズ運河のテラ銭を取って大きくなったコングロマリットです。総売上は5兆8000億円(2005年12月)、総従業員数15万8000人、うち水事業1兆5000億円、従業員7万2150人。スエズはラテンアメリカの通貨の変動で、非常に負債を抱えました。生き残るためにラテンアメリカの資産を売却しています。弱った時にイタリアのエネルギー会社から、敵対的買収をかけられています。これに対してシラクの指導のもと、政府主導でフランスガス公社と合併を検討しています。規模を大きくして敵対合併から逃れようということです。また、水と廃棄物管理を合併する再編成を行おうとしています。

【RWE】ドイツ

社名は「ラインの西側の電力会社」という意味です。年商5兆8800億円(2005年)、従業員約8万6000人。ドイツ2番目の会社ですが、水商売は儲かるという判断から、イギリスのテムズウォーター、アメリカンウォーターワークス、スペインのプレデサを買収しましたが、エネルギーの方が収益が良いということから、今年初めに水事業からの撤退を発表し、売りに出されています。既にテムズウォーターがオーストラリアのマクガリゼン^{銀行}に買われています。

巨大企業が続々参入

この3社だけかと思っていたら、21世紀は水の世紀だということで、アメリカのゼネラル・エレクトリック、ドイツのシーメンスという巨大企業が水ビジネスに乗り出してきました。

【GE (ゼネラル・エレクトリック)】米国

彼らはあり余る^{資金で}ベッツを買収(2002)、続いてオスモニクス、アオニクス、ゼノンといった膜専門会社を買収し、膜技術で世界を制覇する戦略を展開しています。メイン・ターゲットは海水淡水化で、機器売りではなく資本を持って事業として実施しようとしており、アルジェに300億円で海水淡水化施設を作ろうとしています。

【シーメンス】ドイツ

買収したUSフィルター社を核に、民営化上下水道事業を展開しようとしています。もともと、USフィルターは300位の会社を買収して大きくなった企業ですが、それをパクッと食べるというのが彼らのやり方です。

(この後、吉村氏は世界の水処理機器市場の予測、水殺菌市場のトレンド、米国の動向、紫外線技術の現状と展望、紫外線機器を扱う日本企業の問題点、日本紫外線水処理協会がなすべきことについて提言した。)

文責は有村源介(水道ネットワーク通信代表)

月刊 コア

見本誌贈呈中!!

ご愛読いただきまして誠にありがとうございます。

ご紹介キャンペーン実施中

☆お知り合いの方をご紹介下さい。

本誌所定の定期購読申し込み用紙にご紹介いただく方の必要事項をご記入の上、忘れずにご紹介者様のご住所、お名前をご記入いただき、FAXでお送りください。

ご契約成立後、もれなく素適なプレゼントをお送りいたします。